

令和 5 年度在宅医療供給量調査 結果のまとめ

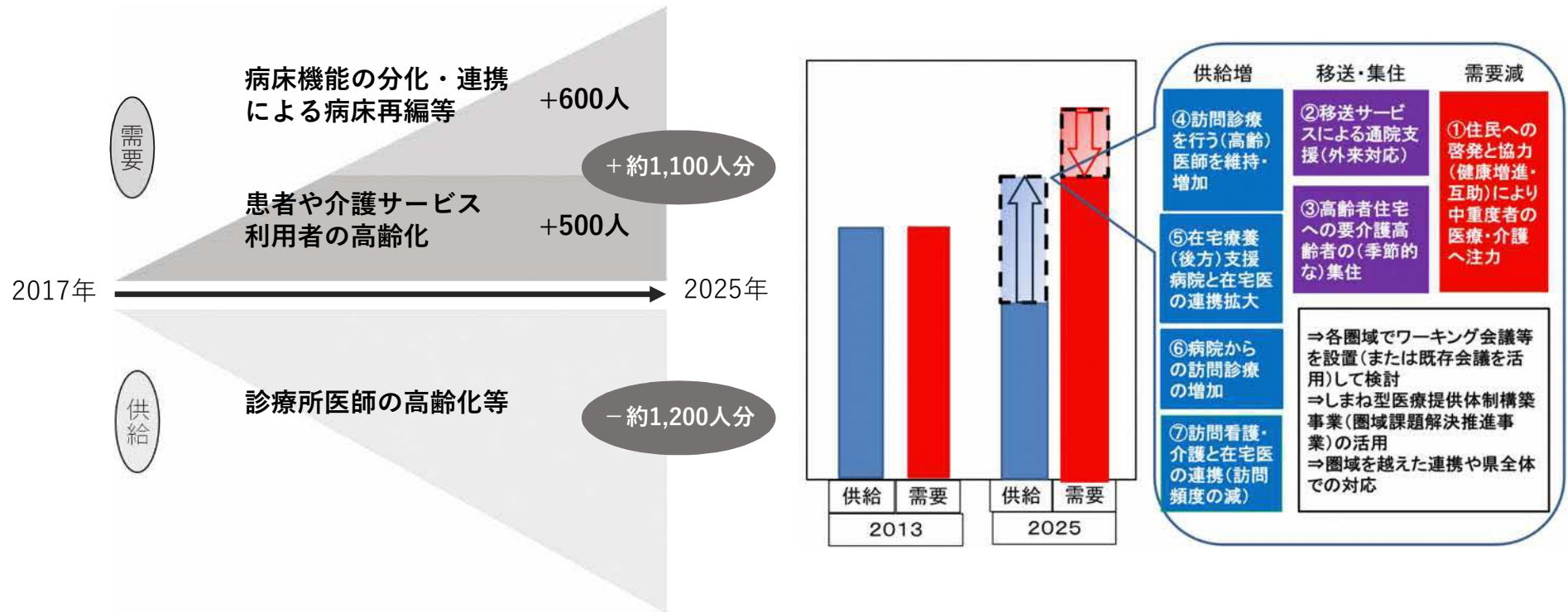
令和 5 年11月13日

島根県健康福祉部医療政策課

これまでの経緯

平成29(2017)年度に県内病院及び内科系診療所を対象に在宅医療供給量調査を実施

⇒2025年までに新たに約2,300人分の需給ギャップが生じると予測



令和5年度在宅医療供給量調査の概要

調査時点 令和5年4月

調査方法 しまね電子申請サービス等により回答

対象 島根県内の病院・内科系診療所

回収率 病院 93.5% (43/46)
 診療所 62.6% (273/436)
 ※R5.10.26時点

在宅医療を実施している診療所医師・病院数

在宅医療を実施する診療所の医師数は2017年から72人減少（286人⇒214人）したが、
前回調査における2025年見込みほどの減少ではなかった

ただし、2029年には156人まで減少することが懸念される

一方で、在宅医療を実施する病院数は2025年見込みを上回り、さらに増加すると想定

< 今回調査 >

	2023 (実績)	2029 (見込)
診療所医師数	214人	156人
病院数	25か所	26か所

< 前回(H29)調査 >

	2017 (実績)	2025 (見込)
診療所医師数	286人	187人
病院数	21か所	20か所

在宅医療を実施している診療所医師の年齢層

60～70歳代の医師が中心となって在宅医療を実施

前回調査では50～60歳代が中心であり、年齢層が上昇

< 今回調査 >

	医師数（2023）	
	実数	割合
～39歳	6人	2.8%
40～49歳	33人	15.4%
50～59歳	43人	20.1%
60～69歳	71人	33.2%
70～79歳	53人	24.8%
80歳～	8人	3.7%
合計	214人	100.0%

< 前回（H29）調査 >

	医師数（2017）	
	実数	割合
～39歳	5人	1.7%
40～49歳	39人	13.4%
50～59歳	88人	30.1%
60～69歳	110人	37.7%
70～79歳	36人	12.3%
80歳～	14人	4.8%
合計	292人	100.0%

受け持つ在宅療養患者数

診療所が受け持つ患者数は、2025年に向けて減少する見込みであったが実際は増加

一方、病院が受け持つ患者数は、2025年見込みほど増加せず

2029年には診療所が受け持つ患者数は減少し、病院が受け持つ患者数は増加する見込み

< 今回調査 >

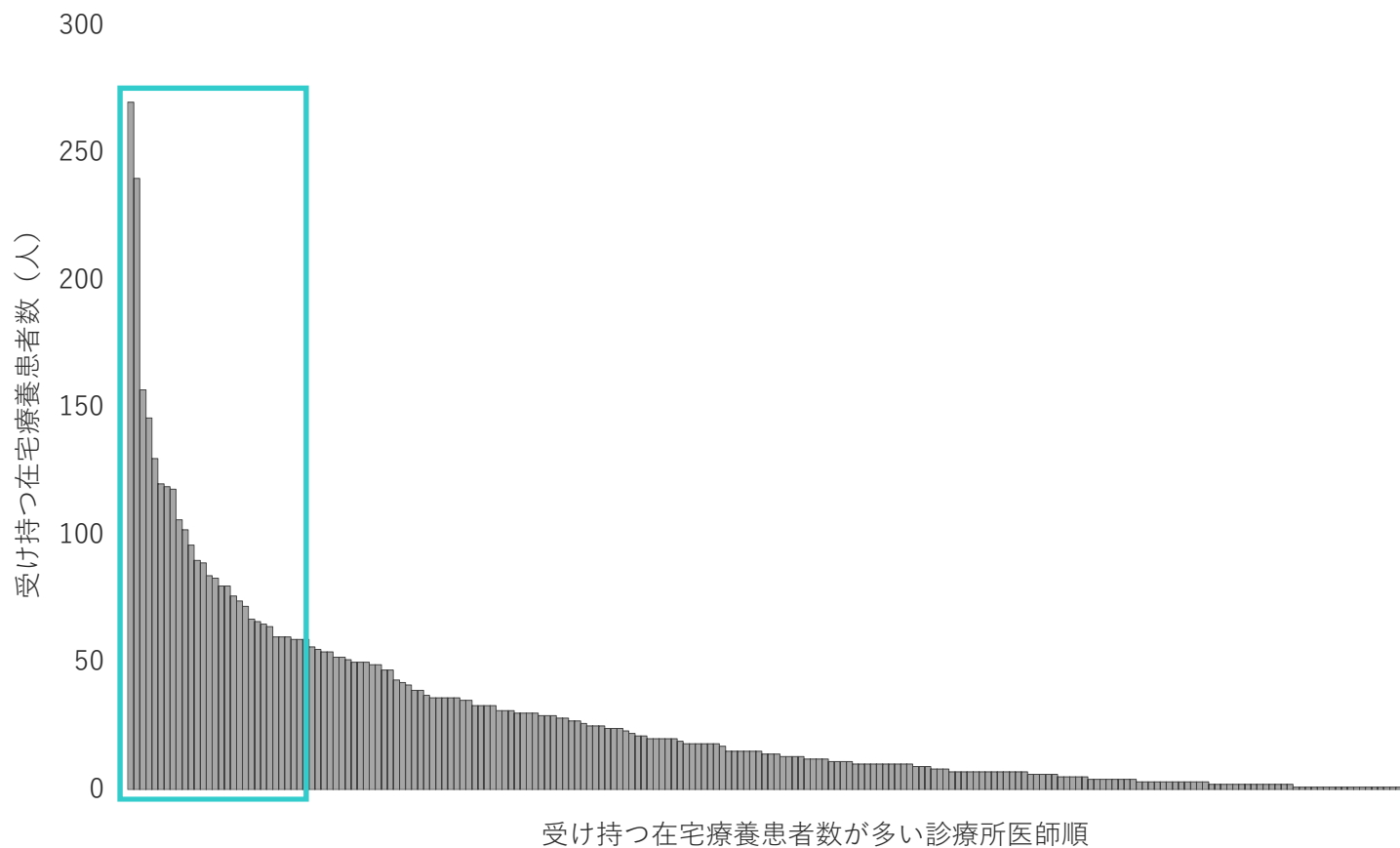
	2023 (実績)	2029 (見込)
診療所	5,894人	3,988人
病院	894人	1,191人
合計	6,788人	5,179人

< 前回(H29)調査 >

	2017 (実績)	2025 (見込)
診療所	5,537人	3,699人
病院	746人	1,361人
合計	6,283人	5,060人

診療所医師ごとの受け持つ在宅療養患者数の分布

在宅医療を実施する診療所の医師214人のうち、上位30人（約14%）の医師が在宅療養患者の約半数を受け持っている（2023年実績）



診療所医師・病院の夜間往診の可否

在宅医療を実施する診療所の医師数は2017年から29人減少（182人⇒153人）したが、前回調査における2025年見込みほどの減少ではなかった

ただし、2029年には95人まで減少する見込み

病院数は2025年見込みを上回り、2023年までに9か所増加

< 今回調査 >

	2023 (実績)	2029 (見込)
診療所医師数	153人	95人
病院数	15か所	16か所

< 前回(H29)調査 >

	2017 (実績)	2025 (見込)
診療所医師数	182人	105人
病院数	6 か所	9 か所

2029年までに市町村内で在宅医療に携わる後継者の有無（診療所）

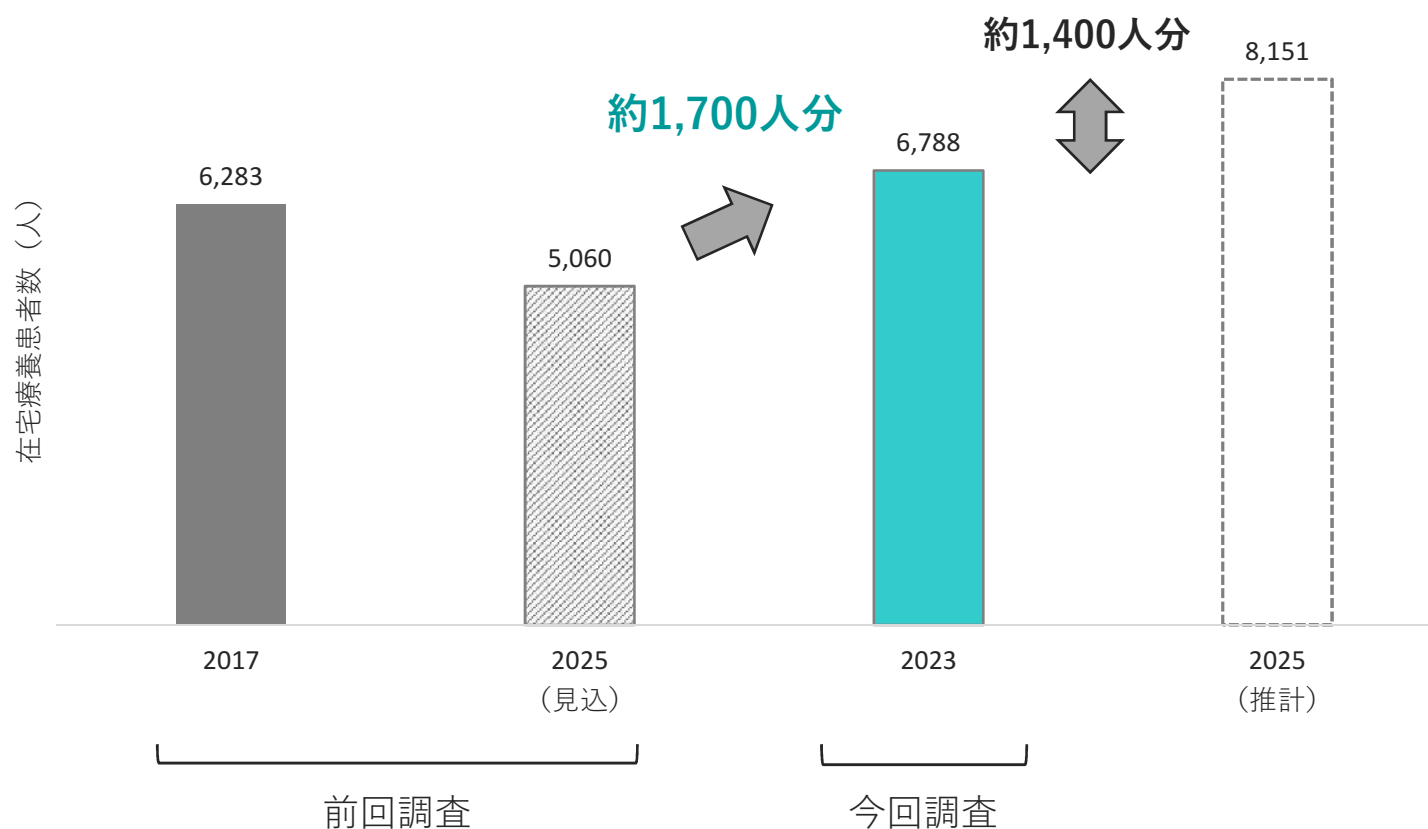
約20%の診療所で、すでに後継者が想定されている

< 今回調査 >

	医師数（2023）	
	実数	割合
いる	61人	20.6%
いない・未記入	235人	79.4%
計 （回答医師数）	296人	100.0%

まとめ①

前回調査における2025年見込みと比較して供給量が約1,700人分上回る
(2025年需要推計よりも依然として約1,400人分不足)



※2025年需要推計は、島根県地域医療構想策定時に必要病床数等推計ツール（厚生労働省）等を活用して算出した推計値に、慢性期機能から介護施設・在宅医療等への転換を含めた追加的需要を加算したもの

まとめ②

供給量増加の要因

①診療所医師による在宅医療実施の増加

	2017年	2023年
診療所が受け持つ在宅療養患者数	5,537人	5,894人

②訪問看護ステーションの増加

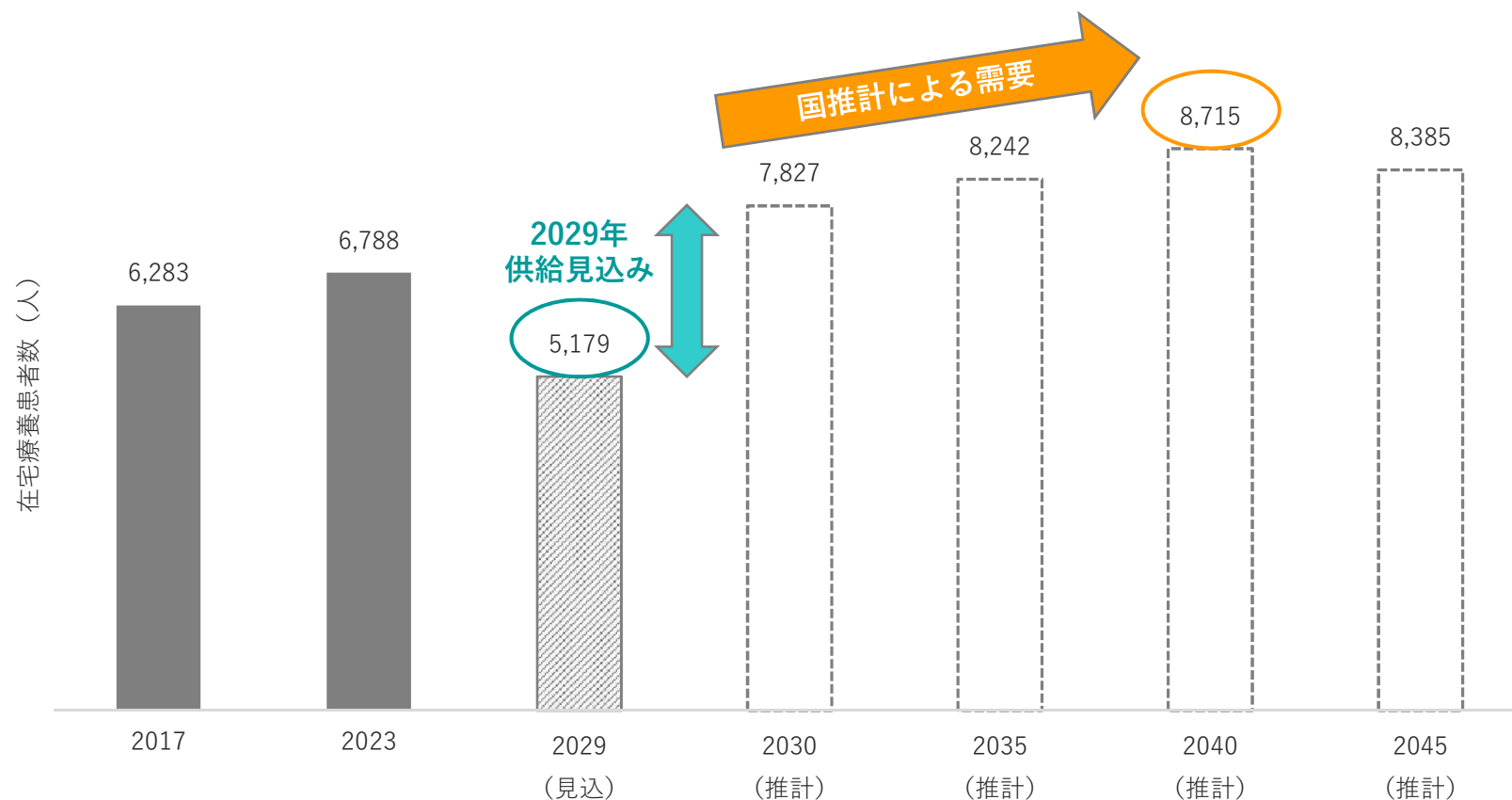
	2017年	2023年
訪問看護ステーション数	71か所	98か所

③病院による在宅医療の補完

	2017年	2023年
在宅医療を実施している病院数	21か所	23か所
病院が受け持つ在宅療養患者数	746人	894人

まとめ③

在宅医療の需要は2040年にピークを迎えると推計
2029年供給見込みは、2030年以降の需要推計を下回る



※2030年以降の推計値は医療計画作成支援データブック（厚生労働省）から引用

NDB（2019年度診療分）における在宅患者訪問診療料（Ⅰ）及び（Ⅱ）の受療率を将来推計人口に機械的に適用して推計

まとめ④

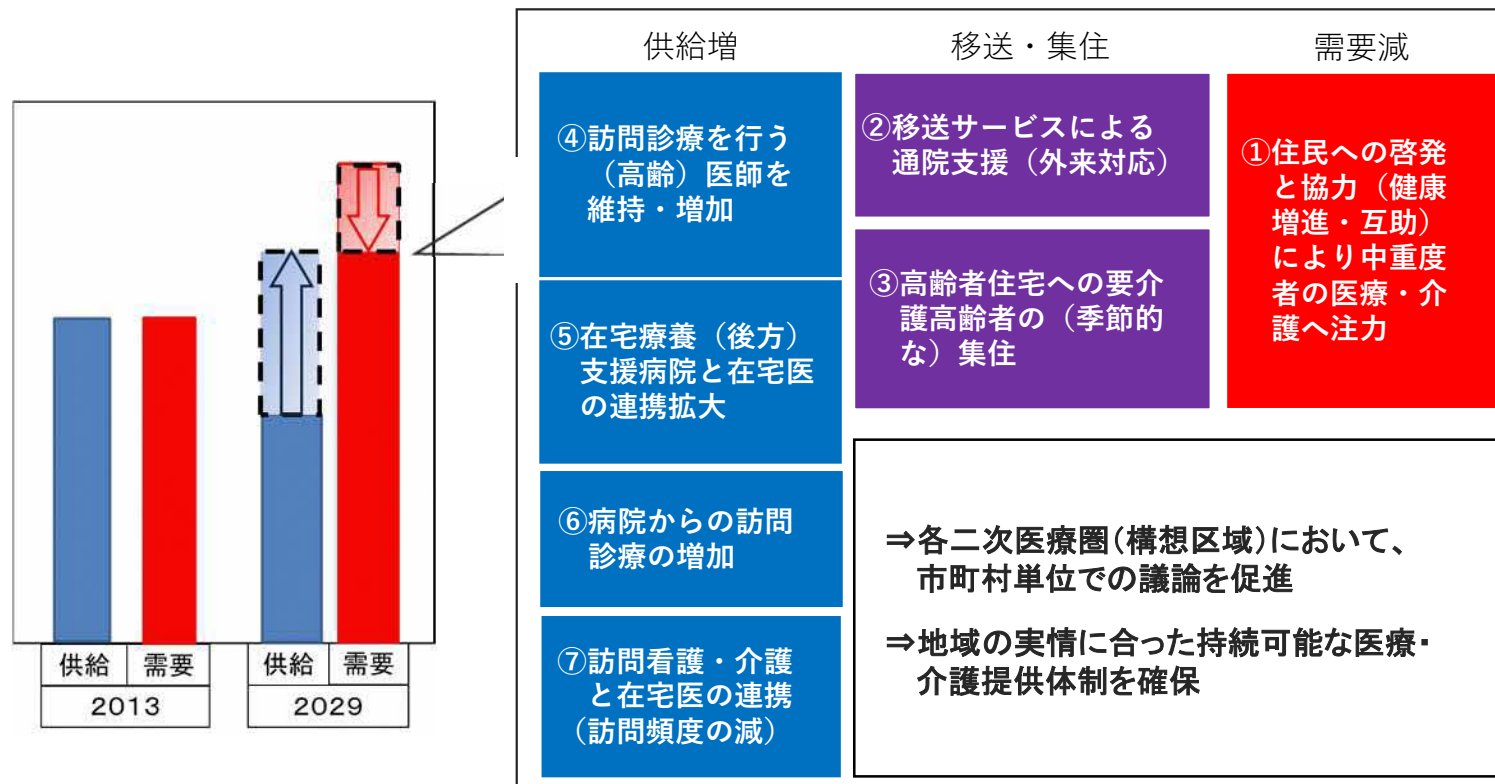
①前回調査以降6年間の取組により、在宅医療提供体制の構築に一定の成果

- ・診療所と病院が受け持つ在宅療養患者数は増加（2017年 6,283人⇒2023年 6,788人）
- ・今後、在宅医療を実施する診療所の医師数の減少により供給量不足が懸念される

②圏域ごとに市町村別や日常生活圏域別での議論を促進

- ・各地域の医療・介護資源の状況を踏まえ、在宅医療を含む一次医療の提供体制を議論

③引き続き、在宅医療の需給ギャップを縮小させるための取組を継続



参考資料（圏域ごとの集計）

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
診療所								
対象施設数	150か所	30人	107か所	41か所	59か所	36か所	13か所	436か所
回答施設数	88か所	20か所	63か所	32か所	43か所	17か所	10か所	273か所
回答率	58.7%	66.7%	58.9%	78.0%	72.9%	47.2%	76.9%	62.6%
回答医師数	94人	21人	74人	34人	44人	17人	12人	296人
病院								
対象施設数	13か所	13か所	3か所	4か所	6か所	5か所	2か所	46か所
回答施設数	13か所	13か所	3か所	3か所	5か所	4か所	2か所	43か所
回答率	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	83.3%	80.0%	100.0%	93.5%

在宅医療を実施している診療所医師数

(単位：人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
前回調査								
2017（実績）	85	27	65	31	37	30	11	286
2025（見込）	58	13	39	23	28	18	8	187
今回調査								
2023（実績）	67	16	49	25	34	15	8	214
2029（見込）	45	13	32	16	29	12	9	156

在宅医療を実施している病院数

(単位：か所)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
前回調査								
2017（実績）	6	3	2	1	4	3	2	21
2025（見込）	7	4	2	1	2	2	2	20
今回調査								
2023（実績）	5	4	6	2	2	4	2	25
2029（見込）	6	4	6	2	3	3	2	26

在宅医療を実施している診療所医師の年齢層

(単位：人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
～39歳	1	1	0	0	1	2	1	6
40～49歳	6	1	10	6	8	1	1	33
50～59歳	17	5	9	4	8	0	0	43
60～69歳	27	4	13	9	8	6	4	71
70～79歳	14	5	13	6	7	6	2	53
80歳～	2	0	4	0	2	0	0	8
合計	67	16	49	25	34	15	8	214

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
～39歳	1.5%	6.3%	0.0%	0.0%	2.9%	13.3%	12.5%	2.8%
40～49歳	9.0%	6.3%	20.4%	24.0%	23.5%	6.7%	12.5%	15.4%
50～59歳	25.4%	31.3%	18.4%	16.0%	23.5%	0.0%	0.0%	20.1%
60～69歳	40.3%	25.0%	26.5%	36.0%	23.5%	40.0%	50.0%	33.2%
70～79歳	20.9%	31.3%	26.5%	24.0%	20.6%	40.0%	25.0%	24.8%
80歳～	3.0%	0.0%	8.2%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	3.7%

【参考：平成29年度調査】在宅医療を実施している診療所医師の年齢層

(単位：人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
～39歳	2	0	1	0	1	0	1	5
40～49歳	12	5	11	2	7	1	1	39
50～59歳	30	8	18	7	14	9	2	88
60～69歳	32	8	17	19	11	18	5	110
70～79歳	8	4	15	3	2	3	1	36
80歳～	3	3	3	0	3	2	0	14
合計	87	28	65	31	38	33	10	292

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
～39歳	2.3%	0.0%	1.5%	0.0%	2.6%	0.0%	10.0%	1.7%
40～49歳	13.8%	17.9%	16.9%	6.5%	18.4%	3.0%	10.0%	13.4%
50～59歳	34.5%	28.6%	27.7%	22.6%	36.8%	27.3%	20.0%	30.1%
60～69歳	36.8%	28.6%	26.2%	61.3%	28.9%	54.5%	50.0%	37.7%
70～79歳	9.2%	14.3%	23.1%	9.7%	5.3%	9.1%	10.0%	12.3%
80歳～	3.4%	10.7%	4.6%	0.0%	7.9%	6.1%	0.0%	4.8%

受け持つ在宅療養患者数

(単位：人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
2023年								
診療所	2,148	399	1,703	463	735	359	87	5,894
病院	122	121	225	232	22	156	16	894
合計	2,270	520	1,928	695	757	515	103	6,788
2029年（見込）								
診療所	1,306	221	1,158	240	722	257	84	3,988
病院	154	142	432	215	8	220	20	1,191
合計	1,460	363	1,590	455	730	477	104	5,179

【参考：平成29年度調査】受け持つ在宅療養患者数

(単位：人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
2017年								
診療所	1,965	530	1,358	444	700	455	85	5,537
病院	218	13	115	306	27	36	31	746
合計	2,183	543	1,473	750	727	491	116	6,283
2025年（見込）								
診療所	1,056	207	1,030	367	727	253	59	3,699
病院	827	24	130	240	20	50	70	1,361
合計	1,883	231	1,160	607	747	303	129	5,060

診療所医師の夜間往診の可否

(単位：人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
前回調査								
2017（実績）	54	19	34	22	31	17	5	182
2025（見込）	28	8	24	13	23	5	4	105
今回調査								
2023（実績）	43	15	34	21	25	6	9	153
2029（見込）	25	10	23	10	15	4	8	95

病院の夜間往診の可否

(単位：か所)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
前回調査								
2017 (実績)	1	1	1	1	0	1	1	6
2025 (見込)	2	1	2	1	0	1	2	9
今回調査								
2023 (実績)	4	3	5	1	0	0	2	15
2029 (見込)	4	4	5	1	0	0	2	16

2029年までに市町村内で在宅医療に携わる後継者の有無（診療所）

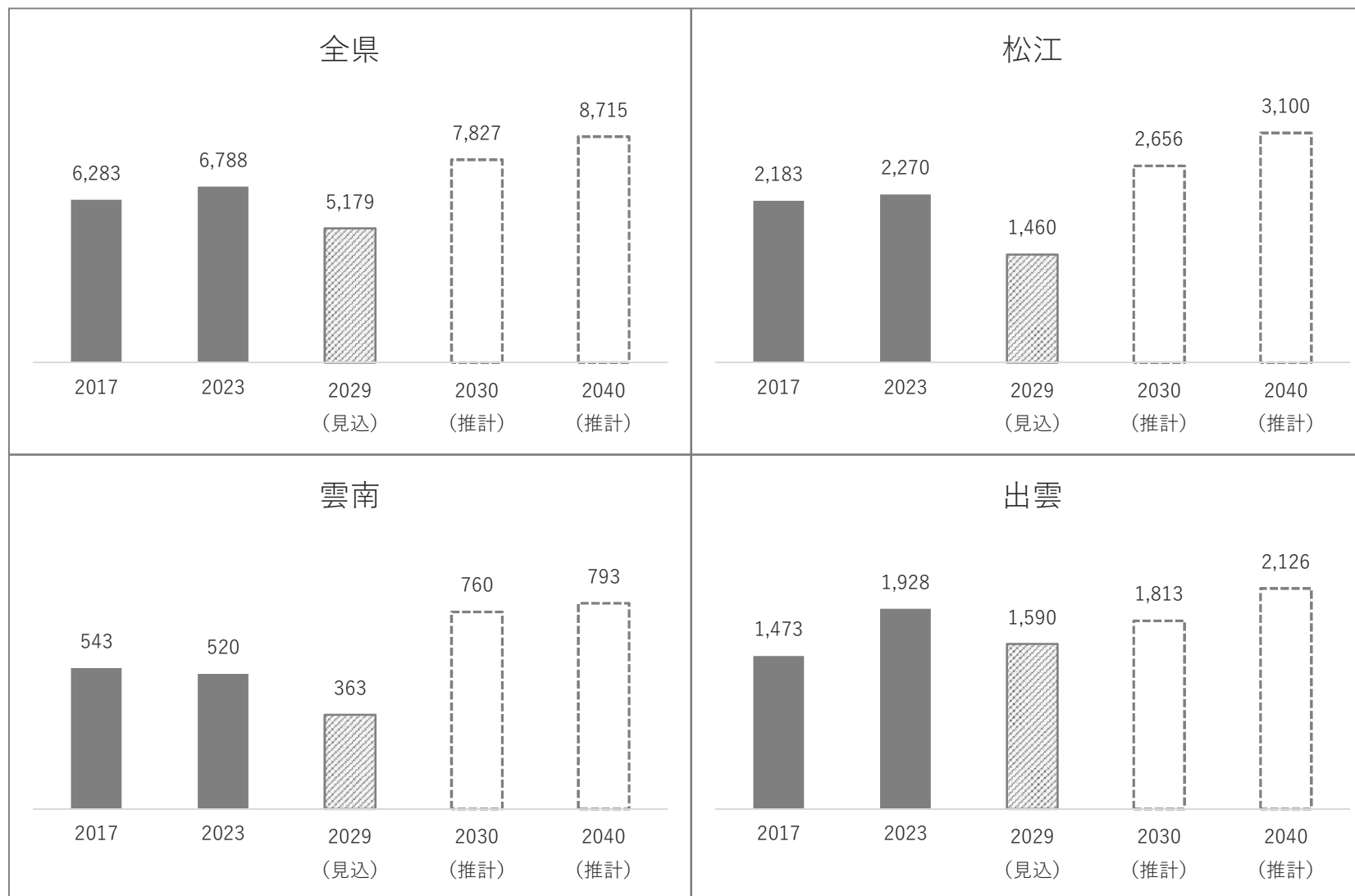
（単位：人）

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
いる	25	5	11	10	6	2	2	61
いない・未記入	69	16	63	24	38	15	10	235
計 （回答医師数）	94	21	74	34	44	17	12	296

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	全県
いる	26.6%	23.8%	14.9%	29.4%	13.6%	11.8%	16.7%	20.6%
いない・未記入	73.4%	76.2%	85.1%	70.6%	86.4%	88.2%	83.3%	79.4%
計 （回答医師数）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

将来の在宅医療の需要と供給（受け持つ在宅療養患者数）

（単位：人）



将来の在宅医療の需要と供給（受け持つ在宅療養患者数）

（単位：人）

